

週刊

愛知民報

2021年
11月28日
第2564号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

愛知あかつき会館内

☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円

毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)

1966年7月31日第三種郵便物認可

改憲NO! 総がかり



緊急課題は改憲阻止
総選挙後の焦眉の緊

「一本化の意味大」
中谷雄二氏は、「総選挙後の情勢と今後の会の活動への問題提起」とした講演で、今回の総選挙の結果について野党候補の当選率は大きく前進し「野党の候補者一本化の意味は大きかった」と分析。「維新は前回総選挙での後退議席やエリアを拡大したただけ」と指摘しました。

参院選 共闘へ

中谷雄二 共同代表

「憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO! あいち総がかり行動」は19日、名古屋市内で「総選挙後、私たちは何をめざすか」をテーマに市民運動の新しい課題について交流集会をひらきました。同会共同代表の中谷雄二弁護士が講演し、各界有志が発言しました。会場から「9条守れの署名で対話を広げよう」「参院選で、なじめ国会をつくりだし、改憲ストップを」など緊迫した発言が相次ぎました。

中谷共同代表は、政権交代に向けて自公政治に対抗する「道徳や正義にもとづいた新たな社会のあり方を提示していくのが市民運動の課題」と強調。「来年7月の参院選で必ず勝利しよう」と呼びかけました。

新たな社会像

憲法擁護の活動では「労働・福祉・平和、暮らしなどそれぞれのかわりで憲法の値打ちや魅力を語る対話」が必要と語りました。

急課題は、岸田政権と与党など改憲派がねらう憲法改悪を阻止することだと強調。9条改憲で戦争ができる態勢をつくらうとしていると告発。改憲の口実になっている「緊急事態条項」は独裁体制づくりだと批判しました。

市民運動各分野の発言

医療充実し憲法生かす

早川純午 医師

医師の早川純午さんは、迫る背景に、感染症病は、コロナ禍の医療逼迫の政策があるを指摘。「自助でなく、お互いに成長しあえる、憲法が生きる新しい社会をつくらう」と語りかけました。

ジェンダー平等を

水谷陽子 弁護士

水谷陽子弁護士は、「今度の総選挙でジェンダー平等が初めて争点になったが、具体的な対話が不足した」と語り、「憲法を生かしてこそ雇用・賃金差別などあなたの苦しみを解決できると訴えたい」と力を込めました。

きれいな地球残したい

フンク・カトリンさん

ドイツから来日したフンクさんは、産業革命後の地球温暖化による異常気象で深刻な災害甚大化がおきており、温暖化ガスの排出を削減し「持続可能な地球をつくりたい」と訴えました。

地域から共闘進化

見崎徳弘さん

名古屋瑞穂区で戦争法反対などの共同行動を推進してきた見崎徳弘さんは、「愛知4区の総選挙で野党統一候補が得票を増やし比例で復活当選した。草の根から憲法を生かす政治をつくる運動を」と強調しました。

憲法25条生かそう

森 弘典 弁護士

日弁連貧困問題対策本部事務局次長の森弘典弁護士は、コロナ禍で労働と社会保障制度の脆弱性が露呈し、国民の生存権を保障する憲法25条が壊されていると指摘。「憲法改悪とのたたかいを一緒に」と語りかけました。

戦争する国許さない

矢野 創さん

愛知県平和委員会事務局長の矢野創さんは、「憲法破壊の『敵基地攻撃』と題して、映像で愛知の基地強化や自衛隊員募集の実態を告発。「戦争する国づくりの実態を語り、9条改憲を阻止しよう」と訴えました。

市政転換

河村たかし市長は、市直営の病院を民間譲渡や大病院移管でゼロ化する計画です。公立保育園を123園から78園へ縮小、小学校給食調理の民間委託化など、医療、福祉、教育を切り捨ててきました。名古屋の福祉の象徴である敬老パスも、利用回数制限が導入されようとしています。

河村市政に正面对決

「愛知民報」編集長のむらせ和弘候補(50・新)が共産党から立候補しました。争点は、河村市政に正面から対決し、市民のいのちとくらしを守る市政への転換です。

むらせ氏 勝利へ全力

こうした市民生活切り捨ての河村市政に反対し正面から対決して

民営化

河村たかし市長は、市直営の病院を民間譲渡や大病院移管でゼロ化する計画です。公立保育園を123園から78園へ縮小、小学校給食調理の民間委託化など、医療、福祉、教育を切り捨ててきました。名古屋の福祉の象徴である敬老パスも、利用回数制限が導入されようとしています。

チエンジ

むらせ候補は、①コロナ対策に全力をあげる市政実現②政治の不正・私物化をただすという「3つのチエンジ」を掲げています。



「民間活力」導入に反対。「東図書館は市直営で充実せよ」と訴え共感を広げています。むらせ候補は、市民のいのちとくらしを守る議席の実現をめざすとともに、来夏の参院選で日本共産党躍進の流れを東区からと奮闘しています。